

代 表 者

研 修 報 告 書

令和元年11月13日

各 会 派 代 表 者 殿

呉市議会議員

神田 隆彦 印

石崎 元成 印

谷 惠介 印

次のとおり研修に参加したので報告します。

1. 研修期日

令和元年10月30日（水）～令和元年10月31日（木）

2. 研修項目

第14回全国市議会議長会研究フォーラム in 高知

3. 参加議員

神田 隆彦、石崎 元成、谷 惠介

■ 研修項目

第14回全国市議会議長会研究フォーラム in 高知 について

・ 研修日

令和元年10月30日（水） 13時～19時

令和元年10月31日（木） 9時～11時

【研修目的】

議会活性化の取り組みに関する研修を受講し、呉市議会の今後の議会活性化に生かしていく

【研修内容】

10月30日(水) (第1日目)

第1部 基調講演

「現代政治のマトリクスーリベラル保守という可能性」

中島 岳志 東京工業大学リベラルアーツ研究教育院教授

第2部 パネルディスカッション

「議会活性化のための船中八策」

コーディネーター

坪井 ゆづる 朝日新聞論説委員

パネリスト

高部 正男 市町村職員中央研修所学長

横田 響子 株式会社コラボ代表取締役/お茶の水女子大学客員准教授

古川 康造 高松丸亀町商店振興組合理事長

田鍋 剛 高知市議会議長

第3部 意見交換会 「ザクラウンパレス」

10月31日(木) (第2日目)

第4部 課題討議

コーディネーター

坪井 ゆづる 朝日新聞論説委員

事例報告者

滝沢 一成 上越市議会議員

久坂 くにえ 鎌倉市議会議長

小林 雄二 周南市議会議長

【質疑応答】

時間の関係で質疑応答なし

【呉市での展開の可能性】

これまで全国的に議会基本条例の制定などの議会改革に取り組んできており、本市議会においても議会改革は進めてきたところであるが、世論の見方はいまだ厳しく、議会不信は根強くあると思われる。

そのことは、選挙のたびに現れる投票率の低さからも伺えるものである。

今回の研修はこうした世論を踏まえ、活力があり質の高い議会の実現を目指すための議会活性化を取り扱ったものである。

呉市は幸いにも選挙が実施されているが、議員のなり手がなく無投票で議員が決まる議会が増えてきている。

2日目の課題討議において議会の活性化について論じられていた。

議員は地域の代表として行政のチェックを行うものであり、市民の声を反映させるためには、男女を問わず各年齢層の議員が居ることが望ましいと思う。

しかし、現実的には若年層の選挙離れが顕著であり、議員を目指せないのではなく目指さないのであり、議会のことは知らないし、知りたいとも思わない。

議会の存在価値が感じられないというのが現在の市民感情である。

これを打開するためには議会の魅力を見せる見える化が大事であるということは、大変重要な提言であると思った。

当議会は議会報告会の開催、議事録・政策活動費の公開、本会議・委員会のインターネット中継など、積極的な議会改革を実施し見える化に努めているが、投票率の低迷が続いていることは、改革は進んでいるものの、市民にはこの改革がまだ十分に周知されていないものと思われる。

呉市の発展のためには、市民が議会に魅力を感じ、自らが参加したいと思われるようにしなければならない。そのためには、市民の現状を把握し、更なる見える化に取り組み、時代に即した議会活性化を行う必要がある。